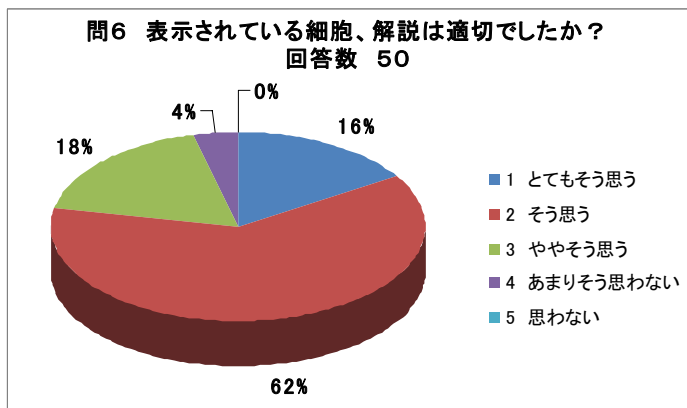


問 6 : 表示されている細胞、解説は適切でしたか？

- ① とてもそう思う
- ② そう思う
- ③ ややそう思う
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ 思わない



◇ その他、テキストについて気付いたことがありましたら記入してください

- 問題と写真が合っていないものが一部ありました。間違えた時の解説が設問に重なって表示されるので、設問や写真を確認しにくく不便でした。
- 後骨髄球・桿状核球・分葉核球の具体的な分類の仕方があればいいのでは？
- 問題集Ⅳの 6 問目が誤った写真でとまどいました。
- 写真がもう少し鮮明だと良いと思います。
- 一部の標本の中で、赤血球が濃い部分のものがあつた。もう少し適した観察場所で出題したほうがいいのでは？
- 設問リストから見たい問題をクリックした後、設問リスト一覧が残ったままで、画像と重なりあってしまう。設問リストから問題をクリックした後、問題移行と同時に設問リストは自動で閉じるようにしたほうがいいのではないかと思います。
- 不正解の時の説明文がわかりづらい。
- たとえば異型 Ly の形態もいろいろあると思いますが、実際この細胞のこういうところが異型にとるポイントでどういう時に出てくるのかということまで教えてほしい。
- 写真画像が拡大しないものが 4 箇所、違う画像が拡大されるものが 1 箇所および設問に番号がふってあれば分かりやすい箇所が 1 箇所ありました。テスト問題の解説が、間違えなくても見られると有難いです。
- 回答方法についての説明が不十分不親切な気がします。状況がわかった人がつくるとこうなるのでしょうか？テストを進めて行って、初めてわかった回答方法でした。血液学についての説明内容は良かったと思います。
- 骨髄球は核小体ある時もあるようなことを聞いたことがありますが。
- 骨髄系の細胞写真はもう少し大きい方が良い。
- ページが自動更新されるため、じっくり読み取れなかった。手動での更新がよいと思った。
- 問題集に使用されている細胞の写真がテキストにある細胞写真と同じだった。いろいろな写真で出題してもらいたかった。
- テキストは、解説文が横に長くて少し読みにくかったですが、画像がきれいで図説もわかりやすかったです。また、掲示板があり、書き込みできる環境になっていて良いと思いました。
- テストの再度チャレンジした場合の正解番号がシャッフルされるのが非常に良かった。

◇ 今後血液学に関してどのような内容が知りたいですか？ご自由にお書きください。

- 特殊染色の手技、見方、考え方。
- 血液部門から離れていますが、今回のような基本内容は、大変勉強になりました。今後、知りたいのは、最新の情報が知りたいです。染色、遺伝子検査など。
- 新しい WHO 分類の改訂など。
- 日常遭遇する異型リンパ球、異常リンパ球の症例等の写真などをもっと増やしてほしい。判定に戸惑う細胞等の症例等。
- 血液疾患別の全般的な検査結果（細胞、マーカー、生化学など）基礎から最新情報まで。
- 日常業務で起こりうる問題の注意点や、症例など。
- 凝固系
- 末梢血（血球数）における病態について勉強ができればと思います。
- 血液形態について、さらにたくさんの細胞（標本）を見たい。日常行う血液学（血球計数検査、凝固・線溶系検査）検査についての実践的な事（トラブル対応）等を知りたい。
- 特殊染色を含めた形態像と疾患の結びつき
- やはり形態学を重点的に学びたい。加えて、凝固検査についても知りたい。
- 病態と関連させて、弱拡で最初にスライドを見たときこう見えるが、ここからのポイントはこうで・・・という流れを知りたいです。
- 表面マーカーの見方。凝固系など。
- 僻地でもあり、なかなか直接指導を受けられないのが悩みでした。どうしても本に頼らざるを得なかったのですが、写真画像で勉強出来て嬉しく思います。本では、微妙な細胞質の感じ等がわかりづらいこともあり、細胞の分類に関して写真を多数お願いできたら最高です。
- 類似する細胞の鑑別点などを詳しく知りたい。その際には別々のスライドではなく、同じスライドで同時に見比べることができるような配慮をいただきたい。
- 症例を読むために関連する形態と臨床情報について。例えば promyelo 一つにしても多くの画像で確認していきたい。
- 血算の異常値から疾患を推測していくような内容はどうか？一つの異常値から、他の部門のデータの異常値を確認していき、疾患にたどり着くような問題があれば、楽しみながら、勉強になるのでは？と思います。もちろん、稀な疾患ではなく、比較的一般的なもので良いと思います。
- 特殊染色を含めた形態像と疾患の結びつき
- やはり形態学を重点的に学びたい。加えて、凝固検査についても知りたい。
- 緊急連絡しなければならぬ症例（血液像）など・・・
- リンパ様異常細胞など
- まずは基礎を充実させて、それから少しずつレベルアップした内容を増やしていけば良いと思います。
- 緊急を要する所見や、血球算定機器により生じる誤差に対する対応方法等が知りたい。
- 臨床側が求める検査技師のコメントの返し方、得られた結果から次に必要な検査の進め方、血液疾患に対する治療方法、など。まずは多くの細胞をみて鑑別できるようになりたいと思います。
- 形態学についての e ラーニングの機会をもっと設けて欲しいです。Stab/seg をはじめ、異型リンパ球・骨髄芽球と赤芽球系の見分け方などの目合わせが e ラーニングを通して出来るといいなと思います。
- 血液画像のいろんな種類のパターン画像を数多く知りたい。

次ページへ続く・・・